

特集 日本自動車査定協会

6月に設立60周年 健全な中古車流通を支え続けて

制度の強化 時代を先取りする気概で

査定士育成の重要性は不変

日本自動車査定協会(JAAI、大井篤理事長)は、2026年6月に設立60周年を迎える。「中古自動車査定士制度」や「V-ICON(車両状態証明書)」などを通じて、長きにわたり中古車の健全な流通に貢献してきた。自動車の電動化が進むなど、市場を取り巻く環境が変化している。60年間の振り返りと今後の展望について、大井理事長に、日刊自動車新聞社の花井真紀子社長が話を聞いた。

動画などで消費者に的確な情報提供

花井「創立60周年おめでとうございます。60年前、日本のモーターショーが始まった時代に歩み始められましたが、振り返ってみて感想はいかがでしょう」

大井「60年間にわたり、中古自動車の査定制度を維持・発展していただいた関係者の皆さまに御礼申し上げます。また、8千社を超える査定業務実施店やJAAIの全国52支所、13万人を超える査定士、関係団体、経済産業省、国土交通省など関係各庁の皆さまに支えていただいたことに感謝いたします」

花井「60年前に中古車の査定に着眼されたことは先見の明があったと思います」

大井「私も自身も慧眼(けいがん)なと思います。ちょうど60年前、1966年は、モーターショーが始まった時代でした。まさに、中古自動車の価格の適正化が新車市場にとっても重要な認識として査定制度を始めたことには、驚くとも感じます」

大井「V-ICONは重要な制度だと認識しています。認定された検査員が修復歴や内外装の損傷具合などをしっかりとチェックし、その内容を記載した証明書を交付することで、取引の公正性が確保されます。現在、年間約13万台の証明



大井篤理事長

大井篤理事長に聞く

聞き手 日刊自動車新聞社社長 花井真紀子

謝を申し上げます」

花井「中古車の信頼は、それを基に公正な査定を行う査定士を育成することだと考えています。このため協会では毎年2回、査定士の技能検定試験を実施し、同時に時代に即して査定基準を適切に変化させていくことで、消費者に的確な透明性の高い査定情報を提供していきます。最近では、動画配信なども行っています」

大井「一番重要なこと」

「層の進化見据えるV-ICON」

花井「車両状態証明書(V-ICON)は、透明性や納得性が高いことを示す事業だと思えます。普及状況はいかがですか」

大井「コロナ禍は新車の供給の停滞により発行件数も減少しましたが、それ以降は13万台ペースで推移しています。さらに維持・発展させていきたいと思えます」

大井「V-ICONは重要な制度だと認識しています。認定された検査員が修復歴や内外装の損傷具合などをしっかりとチェックし、その内容を記載した証明書を交付することで、取引の公正性が確保されます。現在、年間約13万台の証明

は適正な査定基準を策定し、それを基に公正な査定を行う査定士を育成することだと考えています

大井「このため協会では毎年2回、査定士の技能検定試験を実施し、同時に時代に即して査定基準を適切に変化させていくことで、消費者に的確な透明性の高い査定情報を提供していきます。最近では、動画配信なども行っています」

大井「一番重要なこと」

「層の進化見据えるV-ICON」

花井「車両状態証明書(V-ICON)は、透明性や納得性が高いことを示す事業だと思えます。普及状況はいかがですか」

大井「コロナ禍は新車の供給の停滞により発行件数も減少しましたが、それ以降は13万台ペースで推移しています。さらに維持・発展させていきたいと思えます」

自動車 大きく変わる中でも

査定基準に反映していくらに発展させます。特にEVの基準は構造自体が全く異なるため非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

査定基準に反映していくらに発展させます。特にEVの基準は構造自体が全く異なるため非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

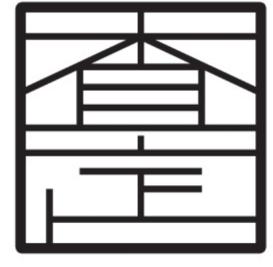
査定基準に反映していくらに発展させます。特にEVの基準は構造自体が全く異なるため非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

大井「EVの基準は非常に難しいです。電池の性能をどう評価するか、各社が取り組んでいるが、評価基準や方法が異なります。納得性の情報を基に基準に反映していかなければなりません。そのため、メーカーによる情報提供や公的機関による評価の方向性をさまざまな取り組みに注視していく必要があります。査定業務実施店からは「限られた商談時間内で対応できる基準をつくらせたい」というニーズがあります。難しい課題ですが、適切に対応していきたいです。中古EVの流通はまだまだ少ないと考えています」

日本自動車査定協会の公式 YouTube チャンネル公開中!



査定士 CHANNEL



- 業務案内
- 査定のポイント解説
- 中古車購入時に気を付けること



「査定士チャンネル」では、日本自動車査定協会の業務案内や査定のポイントを確認できる動画や、中古車の購入を検討するユーザー向けの動画などを配信しています。役立つコンテンツが充実しているので、ぜひチェックしてください!